



2025年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月10日

上場会社名 くら寿司株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報・IR本部長 (氏名) 岡本 浩之 TEL 072-493-6189
 定時株主総会開催予定日 2026年1月28日 配当支払開始予定日 2026年1月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年1月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期の連結業績（2024年11月1日～2025年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期	245,109	4.3	5,460	△4.2	6,179	△0.7	3,606	11.8
2024年10月期	234,950	11.1	5,699	132.0	6,224	115.9	3,226	273.7

(注) 包括利益 2025年10月期 4,018百万円 (73.3%) 2024年10月期 2,319百万円 (△24.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年10月期	90.74	90.69	6.1	4.2	2.2
2024年10月期	81.18	81.11	5.8	4.6	2.4

(参考) 持分法投資損益 2025年10月期 ー百万円 2024年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年10月期	156,015	86,258	40.0	1,568.52
2024年10月期	139,446	72,946	40.5	1,419.88

(参考) 自己資本 2025年10月期 62,338百万円 2024年10月期 56,424百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年10月期	14,869	△18,550	4,946	24,172
2024年10月期	18,363	△10,346	△4,008	23,043

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年10月期	ー	0.00	ー	40.00	40.00	1,589	49.3	2.9
2025年10月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00	794	22.0	1.3
2026年10月期(予想)	ー	0.00	ー	30.00	30.00		ー	

(注) 2024年10月期 期末配当金40円00銭には、記念配当20円00銭が含まれております。

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	4.9	5,000	△8.4	5,200	△15.8	3,000	△16.8	75.48

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年10月期	41,399,600株	2024年10月期	41,399,600株
2025年10月期	1,656,363株	2024年10月期	1,660,997株
2025年10月期	39,742,642株	2024年10月期	39,742,093株

(参考) 個別業績の概要

2025年10月期の個別業績（2024年11月1日～2025年10月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期	176,740	1.4	4,483	△24.9	5,030	△23.4	3,483	△6.7
2024年10月期	174,273	6.2	5,967	637.5	6,569	375.5	3,735	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期	87.66	—
2024年10月期	94.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年10月期	71,780	47,805	66.6	1,202.84
2024年10月期	72,478	45,890	63.3	1,154.81

(参考) 自己資本 2025年10月期 47,805百万円 2024年10月期 45,890百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 経営成績等の概況 (1) 経営成績に関する分析 (2) 次期の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度（2024年11月1日から2025年10月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境などの改善は見られるものの、世界的な政情不安の継続や不安定な為替変動、米国における通商政策などの動向により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食産業全般におきましても、米をはじめとした原材料価格や人件費の上昇など、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、特許技術である抗菌寿司カバー「鮮度くん」を開発・設置しているだけでなく、お客様が入れ替わるごとに醤油差しなどの備品を入れ替えるクリーンテーブル、従業員の技術や接客等を競うコンテストを海外子会社も含めた世界規模で開催し「現場力」を向上させ続けるなど、安心・安全で快適なお食事をしていただくためのさまざまな取り組みを行っております。

また、食べ終わったお寿司の皿5枚を各テーブルにある皿回収ポケットに入れるとゲームに挑戦でき、当たりが出ると景品がもらえる「ビックらポン!」は、当社を代表するシステムで、2000年の導入から今に至るまで大変人気となっております。さらに、大手回転寿司チェーンの中で唯一、回転レーンでお寿司を提供しているだけでなく、業界初となる日頃の感謝を伝えるサプライズサービス「プレゼントシステム」やお客様の笑顔を引き出す新サービス「スマイルチャレンジ」を開始するなどエンターテインメント性を常に進化させ続けており、楽しい食体験も追求しております。

店舗開発につきましては、国内7店舗、米国15店舗、アジア2店舗の計24店舗を出店いたしました。この結果、当連結会計年度末の店舗数は、全て直営で687店舗（「無添蔵」5店舗、「くらおさかな市場」1店舗、米国79店舗、アジア60店舗を含む）となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

① 日本

日本国内におきましては、都心部を中心にインバウンド需要が拡大する一方で、実質賃金は2022年以降一貫して減少傾向にあり、特に地方においてはその傾向が強くなっております。そのような中、米をはじめとした原材料価格や人件費の上昇はあるものの、豪華食材であるカニを存分にお楽しみいただける「極上かに」、食品添加物の「ミョウバン」を一切使用していない旬の時期に獲れた「新物うに」など、魅力的で質の高い商品を中心にフェアを展開いたしました。また、劇場版が公開され大変話題となった「鬼滅の刃」や「LINE FRIENDS」のグローバル人気キャラクターブランド「BT21」とのコラボキャンペーンを実施いたしました。同時に原材料価格に応じた商品設計の見直しも適宜行い、適正な原価管理を行いました。また、店舗改修など次年度以降を見据えた戦略的な投資も集中的に実施いたしました。

10月13日に閉幕した大阪・関西万博の会場内の「大阪・関西万博店」には、開催期間中、世界各国の多くのお客様で賑わい、延べ30万人以上のお客様に来店いただきました。大変人気の高かった世界70の国と地域の料理を再現し、当店のために独自に開発されたメニューは、今後も順次、全国のくら寿司店舗で販売してまいります。

5月29日にオープンしたプレミアム回転寿司「無添蔵 中目黒店」は、継続してたくさんの予約を頂戴しており、連日多くのお客様に来店いただいております。リブランディングした「無添蔵」を含め、今後も都市部を中心に出店を進めてまいります。

当社は財務戦略を重視し、さまざまな事業リスクに対応してまいりました。当社におきましては、前事業年度に引き続き実質無借金にて運営しており、当事業年度末の自己資本比率は66.6%と財務の健全性を維持しております。

この結果、売上高1,767億40百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益50億30百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

② 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、積極的な新規出店を継続していることや米国でも人気の「鬼滅の刃」などのコラボ企画の展開により、売上高は順調に推移いたしました。また、一般管理費の継続した抑制も貢献し、通期で経常利益が黒字化となりました。出店につきましては、テキサス州「ザ・ウッドランズ店」、ユタ州「ソルトレイクシティ店」、コロラド州「ボルダー店」を新規出店。通期では15店舗の出店となり、過去最高の年間出店数となりました。

この結果、売上高421億3百万円（前年同期比17.4%増）、経常利益1億14百万円（前年同期は経常損失10億41百万円）となりました。

③ アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司 (KSA) におきましては、日本でも大人気の「ちいかわ」や「PEANUTS」との

コラボ企画を積極的に展開し、大変ご好評いただきました。また、8月には満腹感謝祭や季節に合わせたフェアを積極的に展開するなど販売促進の強化に努めました。出店につきましては、高雄市に「高雄五福光華店」を新規出店しております。

この結果、売上高265億98百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は11億59百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

なお、当連結会計年度において、日本・アジアにつきましては減損損失を計上しております。

当社グループの保有する固定資産のうち、収益性の低下がみられた店舗について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。

日本におきましては、9億28百万円、アジアにおきましては3億56百万円の合計12億85百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,451億9百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益61億79百万円（前年同期比0.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は36億6百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

②次期の見通し

次期の業績の見通しにつきましては、売上高2,570億円（前連結会計年度比4.9%増）、経常利益52億円（同15.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益30億円（同16.8%減）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産総額は、1,560億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して165億69百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が11億28百万円、有価証券が21億98百万円、有形固定資産が70億10百万円、投資有価証券が43億40百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して32億56百万円増加し、697億56百万円となりました。これは、主に固定負債のリース債務が33億66百万円、資産除去債務が9億76百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が12億9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、連結子会社の増資等に伴い、資本剰余金が35億88百万円、非支配株主持分が66億97百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して133億12百万円増加し、862億58百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが148億69百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが185億50百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが49億46百万円の収入となりました。この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、241億72百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして営業活動の結果得られた資金は148億69百万円（前年同期比19.0%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が42億98百万円であったことに加えて、減価償却費が106億88百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして投資活動の結果使用した資金は185億50百万円（前年同期比79.3%増）となりました。これは主に有価証券の取得による支出が111億18百万円、有形固定資産の取得による支出が102億43百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして財務活動の結果得られた資金は49億46百万円（前年同期は40億8百万円の支出）となりました。これは主に連結子会社の増資による収入が99億88百万円あった一方で、リース債務の返済による支出が35億80百万円、配当金の支払が15億87百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 10月期	2022年 10月期	2023年 10月期	2024年 10月期	2025年 10月期
自己資本比率	48.7%	45.8%	41.6%	40.5%	40.0%
時価ベースの自己資本比率	147.2%	126.2%	109.7%	114.7%	84.6%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.6年	2.9年	2.5年	2.0年	2.8年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	29.3倍	44.6倍	50.3倍	50.0倍	40.0倍

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益分配に関する基本方針

当社は、健全な財務体質の維持及び将来の事業展開等、事業に必要な投資に備えるための資金確保を考慮した上で、長期的に安定的かつ継続した企業価値向上を図り、株主の皆様に対して、安定した利益配当を継続していくことを基本方針としております。

内部留保における資金につきましては、業容の拡大に向けた財務体質の強化及び店舗の新設、その他の資金需要を賄う原資として活用してまいります。

②当期・次期の配当金

当事業年度の配当につきましては、当社普通株式1株につき20円とする議案を2025年12月17日開催の取締役会に付議する予定です。

また、次期の配当につきましては、1株当たり30円とさせていただきます予定です。

加えて、当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の商品やサービスをより一層ご理解いただくことを目的として、期の中間におきまして、株主優待制度を実施しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社グループの海外進出状況や外国人株主比率の推移を勘案した上で、必要に応じて日本基準以外の会計基準の適用を検討してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当連結会計年度 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,043	24,172
売掛金	5,672	6,296
有価証券	—	2,198
原材料及び貯蔵品	3,016	2,706
その他	2,574	2,625
流動資産合計	34,307	38,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,082	75,645
減価償却累計額	△30,319	△34,222
建物及び構築物 (純額)	38,762	41,422
機械装置及び運搬具	8,849	9,298
減価償却累計額	△6,169	△7,020
機械装置及び運搬具 (純額)	2,679	2,277
工具、器具及び備品	11,671	15,105
減価償却累計額	△4,630	△6,053
工具、器具及び備品 (純額)	7,041	9,051
土地	5,205	5,205
リース資産	10,885	9,625
減価償却累計額	△6,402	△6,471
リース資産 (純額)	4,483	3,153
使用権資産	36,771	42,953
減価償却累計額	△8,012	△10,480
使用権資産 (純額)	28,759	32,472
建設仮勘定	2,436	2,796
有形固定資産合計	89,370	96,380
無形固定資産		
リース資産	236	159
その他	1,337	1,868
無形固定資産合計	1,573	2,027
投資その他の資産		
投資有価証券	—	4,340
長期貸付金	5,103	5,097
繰延税金資産	993	1,943
差入保証金	7,302	7,499
その他	796	725
投資その他の資産合計	14,195	19,606
固定資産合計	105,139	118,014
資産合計	139,446	156,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当連結会計年度 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,150	8,450
短期借入金	1,130	1,172
リース債務	4,992	5,098
未払金	9,268	9,882
未払法人税等	1,949	739
その他	5,486	4,825
流動負債合計	30,978	30,168
固定負債		
リース債務	31,338	34,704
資産除去債務	3,218	4,194
その他	965	688
固定負債合計	35,521	39,587
負債合計	66,499	69,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	10,900	14,489
利益剰余金	42,726	44,743
自己株式	△2,003	△1,996
株主資本合計	53,628	59,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1
為替換算調整勘定	2,795	3,098
その他の包括利益累計額合計	2,795	3,096
新株予約権	1,932	2,633
非支配株主持分	14,589	21,286
純資産合計	72,946	86,258
負債純資産合計	139,446	156,015

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
売上高	234,950	245,109
売上原価	95,719	99,934
売上総利益	139,230	145,174
販売費及び一般管理費	133,531	139,714
営業利益	5,699	5,460
営業外収益		
受取利息	566	617
為替差益	22	69
受取手数料	188	170
その他	153	251
営業外収益合計	931	1,107
営業外費用		
支払利息	367	371
その他	39	17
営業外費用合計	406	389
経常利益	6,224	6,179
特別損失		
固定資産除却損	113	111
店舗契約解約損	23	129
減損損失	1,748	1,285
訴訟関連損失	-	353
特別損失合計	1,885	1,880
税金等調整前当期純利益	4,339	4,298
法人税、住民税及び事業税	2,160	1,571
法人税等調整額	△486	△921
法人税等合計	1,674	649
当期純利益	2,664	3,649
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△561	42
親会社株主に帰属する当期純利益	3,226	3,606

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
当期純利益	2,664	3,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△3
為替換算調整勘定	△339	372
その他の包括利益合計	△345	368
包括利益	2,319	4,018
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,033	3,907
非支配株主に係る包括利益	△714	110

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	10,900	40,294	△2,003	51,197
当期変動額					
剰余金の配当			△794		△794
親会社株主に帰属する当期純利益			3,226		3,226
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,431	△0	2,431
当期末残高	2,005	10,900	42,726	△2,003	53,628

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	2	2,986	2,989	1,354	15,024	70,566
当期変動額						
剰余金の配当						△794
親会社株主に帰属する当期純利益						3,226
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	△190	△193	578	△435	△50
当期変動額合計	△2	△190	△193	578	△435	2,380
当期末残高	—	2,795	2,795	1,932	14,589	72,946

当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	10,900	42,726	△2,003	53,628
当期変動額					
剰余金の配当			△1,589		△1,589
親会社株主に帰属する当期純利益			3,606		3,606
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		12		7	20
連結子会社の増資による持分の増減		3,576			3,576
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	3,588	2,016	7	5,612
当期末残高	2,005	14,489	44,743	△1,996	59,241

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	－	2,795	2,795	1,932	14,589	72,946
当期変動額						
剰余金の配当						△1,589
親会社株主に帰属する当期純利益						3,606
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						20
連結子会社の増資による持分の増減						3,576
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1	302	300	700	6,697	7,699
当期変動額合計	△1	302	300	700	6,697	13,312
当期末残高	△1	3,098	3,096	2,633	21,286	86,258

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,339	4,298
減価償却費	10,532	10,688
減損損失	1,748	1,285
受取利息	△566	△617
支払利息	367	371
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△502	327
売上債権の増減額 (△は増加)	△532	△586
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,115	224
未払消費税等の増減額 (△は減少)	187	△788
その他	2,903	2,370
小計	19,592	17,573
利息の受取額	527	579
利息の支払額	△367	△371
法人税等の支払額	△1,389	△2,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,363	14,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△527	△11,118
有価証券の償還による収入	1,809	4,437
有形固定資産の取得による支出	△10,286	△10,243
無形固定資産の取得による支出	△297	△813
貸付けによる支出	△621	△400
差入保証金の差入による支出	△351	△337
差入保証金の回収による収入	48	162
その他	△119	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,346	△18,550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	235	△47
リース債務の返済による支出	△3,725	△3,580
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△796	△1,587
非支配株主への配当金の支払額	△109	△62
ストックオプションの行使による収入	388	236
連結子会社の増資による収入	—	9,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,008	4,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△136
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,103	1,128
現金及び現金同等物の期首残高	18,940	23,043
現金及び現金同等物の期末残高	23,043	24,172

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、飲食事業を営んでおり、国内においては当社が、北米及びアジアはそれぞれの現地法人が担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う商品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは飲食事業を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、経常利益又は経常損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	173,957	35,866	25,126	234,950	—	234,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316	—	—	316	△316	—
計	174,273	35,866	25,126	235,266	△316	234,950
セグメント利益又は損失 (△)	6,569	△1,041	915	6,443	△219	6,224
セグメント資産	72,478	47,570	27,481	147,529	△8,083	139,446
その他の項目						
減価償却費	4,710	2,476	3,345	10,532	—	10,532
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,485	10,386	4,282	18,154	—	18,154

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	176,407	42,103	26,598	245,109	—	245,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	—	—	332	△332	—
計	176,740	42,103	26,598	245,442	△332	245,109
セグメント利益	5,030	114	1,159	6,304	△125	6,179
セグメント資産	71,780	63,314	29,211	164,305	△8,290	156,015
その他の項目						
減価償却費	4,613	2,845	3,229	10,688	—	10,688
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,773	11,037	2,854	17,665	—	17,665

(注) 1. セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
1株当たり純資産額	1,419.88円	1,568.52円
1株当たり当期純利益	81.18円	90.74円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	81.11円	90.69円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当連結会計年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,226	3,606
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,226	3,606
普通株式の期中平均株式数 (株)	39,742,093	39,742,642
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	△2	△2
(うち、連結子会社の潜在株式による調整額) (百万 円)	(△2)	(△2)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 り当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。